


官民のオープンデータとパートナーシップで住民の事前防災を支援する「まちケア」		<b>取組開始時期</b>	2018年8月	<b>取組の</b> <b>カテゴリ</b>	災害対策・防災・減災
<b>1. 団体名</b>	一般社団法人データクレイドル	<b>2. 連携先の</b> <b>団体</b>	岡山県倉敷市、高知県立大学、一般社団法人EpiNurse、特定非営利活動法人岡山NPOセンター 一般社団法人中国経済連合会		
<b>3. 取組</b> <b>目的</b>	官民のオープンデータとパートナーシップで災害に強い「住み続けられるまちづくり」を目指す		<b>4. 関連する</b> <b>ゴール</b>		

**5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）**

**★被災者の生活を支援する情報ポータル「まちケア」提供**

平成30年7月豪雨被災地、倉敷市真備地区で立ち上げた被災者支援情報ポータルサイト「まびケア」を、オープンデータを活用して全国どこでも利用できる「まちケア」としてリリースし、令和元年より台風被災地に提供しています。  
 （総務省ICT地域活性化大賞2020優秀賞受賞）



**★平時の備え  
防災オープンデータセット作成支援**

倉敷市真備地区の浸水被害を事例として防災（水害）に役立つオープンデータを調査・整理して必要なデータセットを定義し、様式のそろった官民オープンデータの広域整備を支援しています。  
 様式を揃えた平時のデータの備えで、多様な避難も想定した防災計画と非常時のスピーディーな情報提供を後押しします。

**★データづくりを地域の仕事に**

地名が読め、土地勘・生活実感があるテレワーカーが生活の隙間時間を活用してオープンデータを作成を担当。GISデータやAI用学習データ作成にもチャレンジしています。



テレワークで働き方改革

**★備える暮らし「まちケア・コモンズ」  
アプリ開発とワークショップ**

「まちケア」を普段から利用する身近なアプリに展開し、地域の災害リスク、防災施設、公共施設などのオープンデータに、健康と安心安全な暮らしに役立つ民間のサービス情報を組み合わせ提供し、備える暮らしを応援しています。  
 民間企業とのパートナーシップで、様々な災害を想定し多様な避難方法、必要な備えを考えるワークショップも実施しています。

**取組のポイント（3つの視点）**

**地方創生SDGsの視点**

- 災害に強い「住み続けられるまちづくり」を進めることが、持続可能な経済・社会・環境を構築するベースとなります。
- 個人や家族の状況に応じた避難と避難生活支援で、「すべての人に健康と福祉」「ジェンダー平等」を目指します。

**ステークホルダーとの連携**

- 一般社団法人中国経済連合会と連携して、防災オープンデータセット作成、「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」において議論、他地域への展開を進めています。
- 倉敷市においては、防災オープンデータを地区防災計画マップの作成支援に活用する取組みを実施しています。

**モデル性・波及性**

- 平時から官民オープンデータを活用し、住民自らが、個人や家族の状況に応じた避難計画を作成し、家族や地域で共有する事前防災を支援する取組のモデルです。
- 官民オープンデータを準備しておくことで、非常時に住民やボランティア等が収集した刻々と変化する現地の情報や支援情報をスピーディに提供可能です。

**【今後の取り組み】** 官と民のオープンデータとパートナーシップで、個人の備える暮らし（自助）を応援し、個人のものもの行動計画を地区防災計画（共助）、地域強靱化につなげる取り組みを継続、展開します。

# 防災オープンデータ

## 防災オープンデータ (倉敷市真備地区水害モデル) の活用事例 2019~2020

倉敷市高備地区の水害被害を事例として公開を推奨するデータと、そのデータの作成にあたり準備すべきルールやフォーマット等を政府推奨データセットに準拠して取りまとめたものです。各データ保有者に対して提供していただき、公開可能なデータセットから公開を進めていただくことも、既に推奨データセットと同様のデータセットを公開している場合、フォーマットの共通化による利用者の利便性向上の観点から、データ項目等を含わせていただくことを期待します。

01	自然災害伝簿簿	定義書	サンプル
02	洪水浸水想定区域図	定義書	サンプル
03	土砂災害警戒区域	定義書	サンプル
04	土砂災害危険箇所	定義書	サンプルデータ
05	ため池ハザードマップ	定義書	サンプルデータ
06	地域・年齢別人口	定義書	サンプルデータ
07	地域別経世人口	定義書	サンプルデータ
08	建物情報	定義書	サンプルデータ
09	避難場所情報	定義書	サンプルデータ
10	避難可能な場所情報	定義書	サンプルデータ
11	徒歩帰宅者受渡ステーション	定義書	サンプルデータ
12	災害時要援者情報	定義書	サンプルデータ
13	避難所周辺施設情報	定義書	サンプルデータ
14	避難勧告等の発令状況	定義書	サンプルデータ
15	避難状況	定義書	サンプルデータ
16	被害・復興状況	定義書	サンプルデータ
17	被災者支援情報	定義書	サンプルデータ

住民主体の  
事前防災

地区防災  
計画づくり

分散避難  
の検討  
多様な避難  
の選択肢

防災  
人材育成

官民  
データ活用  
推奨データ  
セットの活用

### 子ども防災マイマップづくり

2020

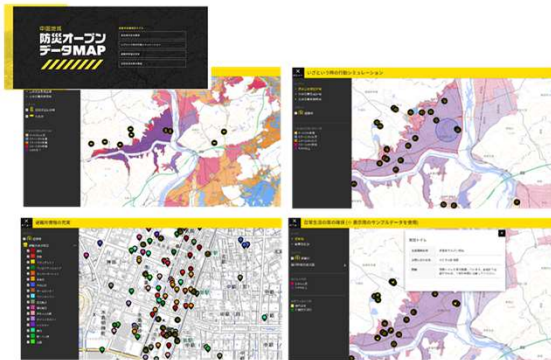


幼い子どもたちが家族と一緒に地図に触れる「子ども防災マイマップづくり」コンテンツを開発し、ワークショップ等に提供しています。

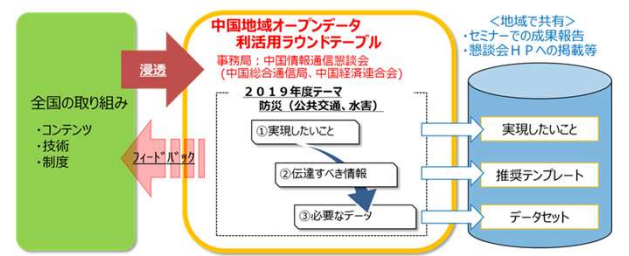
## 中国地域防災オープンデータ利活用推進

2019

「まちケア」提供を通じて、平時から広域で防災に役立つデータを準備しておくことの重要性を再認識しました。防災をテーマに必要なデータ整理を行い、オープンデータ化を推奨するデータセット定義とそのデータの活用テンプレートを作成し、中国地域防災オープンデータマップとして公開しています。



<https://bousai-map.datacradle.jp/>



令和元年度「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」において議論し、中国地域への展開を提言

出典：「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル」まとめ概要  
総務省中国総合通信局、(一社)中国経済連合会、中国情報通信懇話会  
<http://www.cic-infonet.jp/roundtable/index.html>

## 備える暮らし「まちケア・commons」アプリ開発

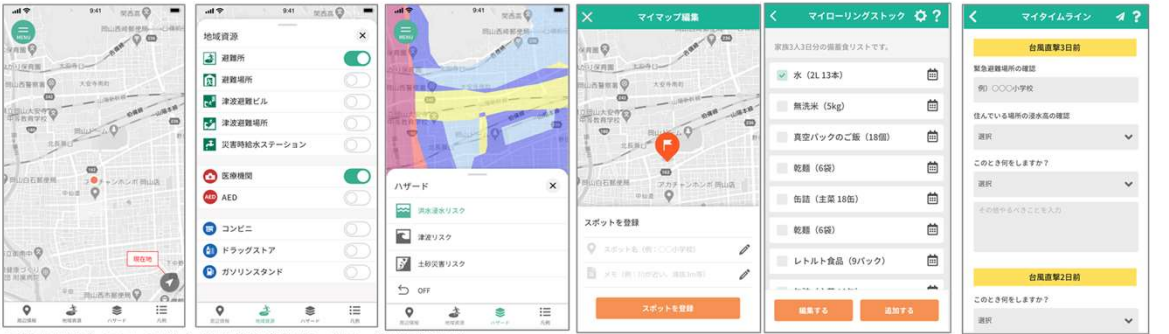
岡山県版リリース

2020

まちケア・commonsは、「まちケア」を平時から利用できる身近なアプリにしたものです。地域の災害リスク、防災施設、公共施設、健康と安心安全な暮らしのための商品・サービス提供企業・店舗等の地域社会資源情報を提供します。



- ・ **マイマップ** 居住地や通勤・通学先、よく行く店舗、もしもの集合場所などをMYSポットとして登録し、行動エリアの災害リスクや周辺の施設や店舗情報等を確認し、家族や仲間にシェアできます。
- ・ **マイタイムライン** もしもの行動計画 (決めごと) 時系列で整理して登録し、家族や仲間にシェアできます。
- ・ **マイローリングストック** 普段から少し多めに食材や生活用品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の備蓄をしておく方法です。家族の人数や特性に応じて備蓄計画づくりができます。



経済産業省令和2年度地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業